

2022-2023年度

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ
 第2560地区ガバナー 高橋 秀樹
 高田ロータリー会長 高橋 正彦
 幹事 飯塚 宏佳

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
 TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534
 メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
 例会場：デュオ・セレッソ TEL(025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：
 伴 長門・齋藤俊幸・藤林陽三・出澤英則

国際ロータリー第2560地区
 ガバナーテーマ

再生・新生・共生

高田ロータリークラブ
 今年のスローガン

ロータリーを楽しもう！
 夢と誇りをもって



第 29 回例会 3 月 31 日(金)

No.29

会長挨拶 ●高橋正彦



皆さんこんにちは。

高田城址公園の桜が 25 日に開花宣言が発表されました。平年より 12 日早く観測史上もっとも早い開花宣言でした。そして 29 日より日本三大夜桜の一つ高田城址公園観桜会が満開の中開催されました。

高田城址公園の桜は、明治 42 年、在郷軍人会が陸軍 13 師団の高田城址入場を祝い、城址に 2200 本の桜を植樹したのが始まりで、大正時代にはソメイヨシノが美しく咲くようになり、大正 15 年に第 1 回の観桜会が開かれ、戦時中の昭和 19・20 年は中止されたが、昭和 21 年に再開され昭和 22 年に夜桜が復活し、現在では 4000 本の桜と 3000 個のボンボリやライトアップにより日本三

大夜桜の名所として親しまれています。

さて、桜の品種は 600 以上の種があると言われています。全国に植えられている桜の 8 割がソメイヨシノです。名前の由来は江戸時代に染井村（現在の東京都豊島区駒込）で、大島桜とエドヒガンの交雑種で誕生し、挿し木や接ぎ木で増やし売出し、当初は奈良県の吉野山にあやかって、吉野桜と名付けたそうです。しかし吉野山で自生している桜は山桜で吉野桜と異なる種であり混同されるのを避けるため、明治 33 年に誕生の地である染井村にちなんでソメイヨシノと改名したそうです。ソメイヨシノの寿命は約 60 年といわれています。街路樹や公園の踏み荒らされやすい場所に多く植樹されているため寿命を縮める原因になっているようです。しかし弘前市のように、リンゴの剪定技術をソメイヨシノの剪定管理に応用するなどして、樹齢 150 年の桜も存在しています。最近では病害に強いと言われる、ジンダイアケボノやコマツオトメへの植え替えを推奨されているようです。

この土日は満開で丁度見ごろです。ぜひ観桜会に足を運んでください。

本日の卓話は、会員卓話で高坂光一君です。演題は、パキスタンポリオワクチン投与活動参加報告です。ご清聴お願いします。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

大谷光夫君・本山秀樹君：3/18 村松 RC 創立 60 周年記念式典

笹川 裕君：3/25 米山奨学委員長セミナー

ニコニコ BOX 紹介

大島 誠君：毎週月曜日、上越タイムスに掲載していますくびき野 NPO サポートセンターの広報「NPO プレス」が 1000 号を超えました。皆様のご支援の賜物と感謝いたします。

セレモニー



入会式：渡邊茂雄君
(上越信用金庫高田中央支店長)

2023-24 年度委嘱状：ロータリー財団委員会 寄付・
資金・ポリオプラス委員長 高坂光一君
ポールハリスフェロー表彰：高橋正彦君・霜村浩君・
小池猛紀君

委員会報告

ロータリー財団委員会：ポリオプラス寄付のお願い

幹事報告

配布物：会報No.28
回覧物：米山梅吉記念館館報・賛助会ご入会のお願
い、「参勤交代うおーく」加賀・上越の高校生吹奏
楽セッションチラシ、4/4-6/25 ハーを知るチラシ
報告：次週 4/7 は観桜会

会員卓話

パキスタンポリオワクチン投与活動参加報告



高坂 光一君

(地区ロータリー財団委員会寄付・資金・ポリオプラス委員長)

3月11～15日、ポリオワクチン投与活動に参加してきました。2019年12月以来二度目の訪問、高田はまだ初春の肌寒さが残る中、最高気温 38℃予報の現地でどうなるかと心配しましたが、思いのほか身体へのダメージもなく活動を行うことができました。

活動は、前回同様高速道路ゲートとカントンメント駅での投与活動の他、アフガニスタン・パキスタン人混在のガリバーバッド地区、アフガニスタン人のサッチャル地区、昨年の洪水被害からの避難テント村、3ヶ所の戸別訪問投与、数ヶ所の浄水プラント視察でした。

高速道路ゲートでは私たちの活動した1ヶ所で日本の年間出生数以上の子供に3交代24時間365日体制で投与を行い、同様ゲートが市内8か所あることを知り参加者全員衝撃を受けました。駅の活動も長距離列車の到着する数ヶ所で同様に行われている由、莫大なマンパワーと費用をかけポリオフリーに取り組んでいるのです。



戸別訪問場所は行政では「平地」「雑地」扱いの為地図に地名が載っていません。周囲を前回より厳重な武装警官に警備される異様な状態で緊張しましたが、活動を始めれば子供は子供、万国共通泣く子もずるがしこい子もいます。

活動を通じ、この子たちがポリオや他の感染症の脅威から逃れのびのび育ち将来社会に役立つ人になればと願うばかりです。

今回は、行政のポリオフリー優先と地域の方々のその前に医療・教育・水の整備が必要という考えを知り、現地での優先順位の齟齬を感じました。先ずは互いに反目せず、少しでも良い方向に進むよう相互理解が進むことを願います。